

2006/1/14 (sat)

@ 全興寺 (Senkoji Temple)

18:30 Open / 19:00 Start

前売り当日 2,000yen

出演：

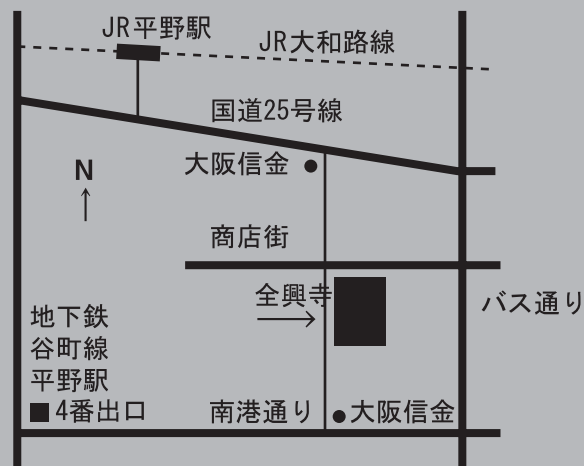
BIRCHVILLE CAT MOTEL / from New Zealand

A.M (Antony Milton) / from New Zealand

DOC AFRO BLUE (Dr.Kohei-C) / Live-DJ from NARA.

Unfriendly Science Orchestra

(Ian Masters from I'm sore, ex Pale Saints. and Kazuya Ishigami) from OSAKA.



BIRCHVILLE CAT MOTEL (バーチビル・キャット・モーター)：

ニュージーランド在住Campbell Knealeによるソロユニット。

「周期的に湧き起こる霧を幾重にも重ねたその重厚なドローンは、誰の家にもあるがらくた、おもちゃ、壊れゆくはかない音から生まれる。その音は正体の見えない精神性の強い即興によるフリージャズであり、祈りを包み込むドローンであり、古代のフォークミュージックである。そしてそれらを全て包んでぐちゃぐちゃに歪めた麻薬の様。... まるでスローモーションでBlack Sabbathサウンドを再生したような。」(田野幸治氏の文章より)

SONIC YOUTHのThurston MooreのレーベルEcstatic Peace等からアルバムをリリース。

同じくSONIC YOUTHのLee RanaldoとのコラボレーションCDが2005年にリリース。

ニュージーランド国内のみならず、アメリカ、ヨーロッパ等でニュージーランド・アヴァンギャルド・シーンの中核アーティスト、また世界的なドローン・ノイズの雄として知られている。

<http://birchville.sphosting.com/label.htm>



A.M (Antony Milton)：

Antony Miltonは90年代初頭からニュージーランド・サウンド・アート・コミュニティに関わり積極的に活動が続けている。現在50を超える作品をリリースしている。

また、Campbell Knealeとのボイス・ドローン・デュオ'With Throats As Fine As Needles'、そのほか様々なユニットでも活動を行う。フィールドレコーディングの様な偶発的ノイズと、ボイスや楽器などが発する肉体的・能動的ノイズとの調和を目指している。

www.pseudoarcana.com



DOC AFRO BLUE (ドクトル・アフロブルー)：

ドローン／アンビエント／ミニマル／ノイズ／フィールドレコーディング等、数チャンネルに振り分けられた極上の音素材をミキサーにつっこみDUBするトリッピー・ミックスDJ from 生駒山。

www.gravity-swarm.com

* GUILTY CONNECTORことDr. Kohei-C AKA The Filth によるDJユニット。



Unfriendly Science Orchestra：

元Pale SaintsのIan Mastersと石上和也によるデュオ。今回はアンビエント・お寺・バージョン(?)。

＝全興寺＝
大阪市平野区平野本町4-12-21
tel:06-6791-2680

問い合わせ：
06-6797-0383 (石上)
mail@neus318.com (石上)